

職務経験者採用職員と 津市長の座談会

自動車ディーラーで
営業企画・採用業務などに従事

国体・障がい者
スポーツ大会推進局
総務企画課



7月6日、令和2年度の職務経験者採用で入庁した職員が、前葉市長と座談会を行いました。即戦力として各職場で活躍中の4人が、応募のきっかけや現状、今後の目標について思いを語りました。

問い合わせ 人事課 ☎229-3106 📠229-3347

TALK

01 応募のきっかけは？

年齢にとらわれないチャレンジ

以前から行政職に興味がありましたが、年齢制限などの先入観で諦めていました。津市ホームページで職務経験者採用の記事を見つけ、自分の年齢でもチャレンジできることを知りました。前職で津市の職員と仕事をする機会もあり、その懸命な姿を見てさらに行政の仕事に興味を持ち、受験を決心しました。

第二の人生をスタート

子育てが一段落して何かに挑戦したいと思っていたとき、広報津の職務経験者採用の記事が目にとまりました。看護師として津市応急クリニックで勤務して、市民の皆さんが休日や夜間に体調が悪くなったときに、不安を軽減するため力になりたい、津市のために微力ながら貢献したいと思い、応募しました。

ふるさとへ恩返し

海外・県外での勤務経験が、ふるさとの良さを再確認する機会となり、地元のために働きたいと考えていました。また、日本で生活する外国人と、受け入れる側の日本人住民の両方が快適に生活するための手助けをしたいという夢があり、行政だからこそできることがあると感じ、津市への転職を決意しました。

TALK

02 前職での経験が役立っていること

現場で培った知識で的確に判断

津市応急クリニックへの電話相談では、来院を促したり、救急医療情報センターを紹介したり、また救急車を呼んでもらったりと、症状に応じた選択肢を迅速に伝える必要があります。この時、的確な判断や対応ができることは看護師としての経験が役立っていると実感しています。

専門的分野で頼られる存在に

三重とこわか国体・とこわか大会の開催を控え、現在の部署では前例にとらわれない取り組みや改善策など、柔軟な発想が求められています。その中で、保険や協賛企業との契約など、専門的な分野で頼ってもらえるとやりがいを感じますし、役に立てると嬉しく思います。

コロナ禍も経験を生かして

現在は特に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも、子育て支援施設を運営する際に、現場の意見を聞きながら、利用者の立場に立って調整する業務が求められています。これは前職での管理業務や品質管理と似た部分があり、経験が生かせていると感じています。

津市長からのエール

私の好きな言葉に「いっしんにしょう一身二生」という「1つの身で2つ以上の経験をする」というものがあります。平成27年にスタートした津市職務経験者採用制度ですが、前職の経験を生かして新しいことにチャレンジし、のびのびと活躍している職務経験者の皆さんの姿に、その言葉を実感しています。

津市では18歳から59歳まで全ての方に門戸を開いています。業務内容は多岐に渡り、さまざまな活躍の場がありますので、ぜひ職務経験者採用にご応募ください。一緒に住みやすい津市をつくりましょう。

